



橋本鉄工 株式会社

2023 年度

環境経営レポート

(対象期間：2022年10月～2023年 9月)

発行日：2023年10月20日

環境経営方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、

社是『技術の創造・家庭の創造・顧客の創造』

を基本理念とし、当社事業である精密板金加工品の製造はもとより、社員一人一人の自覚を促し、企業活動全般にわたり環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・ 電力(工場、事務所)
 - ・ LPガス(工場、食堂)
 - ・ 灯油(暖房用)
 - ・ 自動車燃料(営業車、トラック)
- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・ 一般廃棄物(可燃ごみ)
 - ・ 事業不要物(ステンレス、鉄、アルミ)
- ③ 排水量の削減(水資源の保全)
 - ・ 水使用量の削減
- ④ グリーン購入
 - ・ 外注先のメッキ、塗装のクロムフリー
 - ・ 材料の購入
- ⑤ 環境への配慮
 - ・ 材料ロスの削減

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境保全の取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

4. この方針は全従業員に周知します。

制定日：2008年12月17日

改訂日：2013年 8月31日

確認日：2022年10月 3日

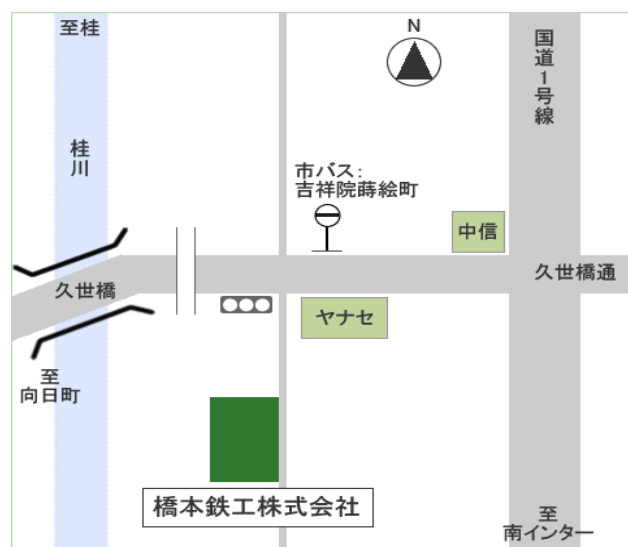
代表取締役社長

橋本善博



登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
橋本鉄工 株式会社
代表取締役社長 橋本 善博
- (2) 所在地
京都市南区吉祥院長田町592番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び事務局連絡先
責任者 古賀 幹人 TEL: 075-672-3331
事務局 古賀 幹人 TEL: 075-672-3331
- (4) 認証・登録の対象範囲（全組織、全活動を対象）
対象組織：本社
対象活動：精密板金加工品の製造・販売
- (5) 事業内容
精密板金加工品の製造・販売
- (6) 事業の規模
製品出荷額 2.3億円（2022年度実績）
従業員 23名
敷地面積 665㎡
資本金 1000万円
- (7) 事業年度 10月～翌年9月
（今回の環境経営レポートの対象期間は2022年10月～2023年9月まで）
- (8) アクセス



京都駅から市バス15分「吉祥院蒔絵町」下車
京都南インターから京都市内方面へ車で5分

主要設備



パンチ・レーザー複合機




工場全体

| | |
|-------------|-----|
| レーザー切断機 | 1台 |
| パンチ・レーザー複合機 | 1台 |
| サーボブレーキプレス | 2台 |
| 油圧ブレーキプレス | 6台 |
| 三次元測定機 | 1台 |
| | その他 |

◇ ネットワーク（外注等） ◇

| | | |
|--------|---|--------------------|
| 製缶加工 | : | 溶接、機械加工、etc |
| 精密機械加工 | : | マシニングセンター、研削加工、etc |
| 精密旋盤加工 | : | NC旋盤、汎用旋盤、etc |
| 塗装 | : | 焼付塗装、電着塗装、etc |
| メッキ | : | 電気メッキ全般 |
| アルマイト | : | アルマイト（白・黒・硬質）、etc |
| 研磨 | : | 電解研磨、化学研磨、バフ研磨、etc |

サンプル

| | | |
|---|-----|--------------------|
|  | 材 質 | S U S 304 t 1.0 |
| | サイズ | 90 × 40 × 35mm |
| 備考：超音波洗浄 | | |

| | | |
|--|-----|----------------------|
|  | 材 質 | S U S 316 t 1.0 |
| | サイズ | 300 × 300 × 480mm |
| 備考：純水洗浄 | | |

| | | |
|---|-----|--------------------|
|  | 材 質 | S U S 304 t 1.5 |
| | サイズ | 90 × 80 × 80mm |
| 備考：9 部品溶接組立 | | |

| | | |
|--|-----|--------------------|
|  | 材 質 | S U S 304 t 1.0 |
| | サイズ | 185 × 90 × 20mm |
| 備考：バフ研磨 | | |

| | | |
|---|-----|----------------------|
|  | 材 質 | S U S 316 t 1.0 |
| | サイズ | 150 × 150 × 100mm |
| 備考：電解研磨 | | |

| | | |
|--|-----|------------------|
|  | 材 質 | C 2680 t 0.5 |
| | サイズ | 50 × 15 × 7mm |
| 備考：クロームメッキ | | |

| | | |
|---|-----|--------------------|
|  | 材 質 | S U S 304 t 1.2 |
| | サイズ | 22 × 24 × 10mm |
| 備考：旋盤部品溶接 | | |

| | | |
|--|-----|---------------------|
|  | 材 質 | S P C C t 1.6 |
| | サイズ | 280 × 130 × 30mm |
| 備考：クロメート | | |

主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|----------------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素排出量合計 (対象:エネルギー総量) | kg-CO ₂ | 132,578 | 129,356 | 115,426 | 119,210 | 85,392 |
| 電力使用量 | kWh | 172,216 | 168,627 | 186,763 | 175,483 | 151,023 |
| 灯油使用量 | L | 3,092 | 2,358 | 2,880 | 3,496 | 1,543 |
| ガソリン使用量 | L | 918 | 849 | 1,199 | 1,638 | 1,580 |
| 軽油使用量 | L | 3,710 | 4,069 | 3,613 | 4,534 | 5,652 |
| LPG使用量 | kg | 182.80 | 238.46 | 183.20 | 128.55 | 178.43 |
| 廃棄物排出量 | t | 1.53 | 1.27 | 1.33 | 0.87 | 0.90 |
| 事業不要物排出量 | t | 6.87 | 6.59 | 18.79 | 24.83 | 23.17 |
| 水使用量 | m ³ | 301 | 315 | 295 | 270 | 222 |

注) 2019、2020年度の電力二酸化炭素排出係数は(株)USENの2017年度実績の実排出係数0.653kg-CO₂/kWhを使用
 注) 2021年度の電力二酸化炭素排出係数はHTBエナジー(株)の2019年度実績の実排出係数0.511kg-CO₂/kWhを使用
 注) 2022年度(10月～6月)の電力二酸化炭素排出係数はHTBエナジー(株)の2020年度実績の実排出係数0.538kg-CO₂/kWhを使用
 注) 2022年度(7月～9月)2023年度(10月～3月)の電力二酸化炭素排出係数は関西電力送配電(株)の2020年度実績の実排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用
 注) 2023年度(4月～9月)の電力二酸化炭素排出係数は日本テク(株)の2021年度実績の実排出係数0.484kg-CO₂/kWhを使用

環境経営目標

| 項目 | 年度 | 2021年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
|-----------------------|--|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | (基準年度) | (目標) 基準年度比 | (目標) 基準年度比 | (目標) 基準年度比 | (目標) 基準年度比 |
| 二酸化炭素排出量合計 | kg-CO ₂ | 120,471 | 118,062 98% | 116,857 97% | 115,652 96% | 114,447 95% |
| 電力使用量の削減 | kWh | 186,763 | 183,028 98% | 181,160 97% | 179,292 96% | 177,425 95% |
| 灯油使用量の削減 | L | 2,880 | 2,822 98% | 2,794 97% | 2,765 96% | 2,736 95% |
| ガソリン使用量の削減 | L | 1,199 | 1,175 98% | 1,163 97% | 1,151 96% | 1,139 95% |
| 軽油使用量の削減 | L | 3,613 | 3,541 98% | 3,505 97% | 3,468 96% | 3,432 95% |
| LPG使用量の削減 | kg | 183.20 | 179.54 98% | 177.70 97% | 175.87 96% | 174.04 95% |
| 廃棄物の削減 (一般廃棄物) | t | 1.32 | 1.29 98% | 1.28 97% | 1.27 96% | 1.25 95% |
| 事業不要物(ステンレス、鉄、アルミ)の削減 | t | 18.79 | 18.41 98% | 18.23 97% | 18.04 96% | 17.85 95% |
| 水使用量 | m ³ | 295 | 289 98% | 286 97% | 283 96% | 280 95% |
| グリーン購入 | ・外注先のメッキ・ 塗装のクロムフリー ・クロムフリー材料の 購入 | グリーン購入100% | 15/15 100% | 15/15 100% | 15/15 100% | 15/15 100% |
| 環境への配慮 | | 材料ロス40.2% | 材料ロス 39.4% | 材料ロス 39.0% | 材料ロス 38.6% | 材料ロス 38.2% |

注) 電力二酸化炭素排出係数はHTBエナジー(株)の2020年度実績の実排出係数0.538kg-CO₂/kWhを使用

注) グリーン購入に於ける分子・分母は、グリーン購入先件数/購入先件数とする

注) 産業廃棄物の排出はほとんどなく、事業不要物は有価物として売却している。

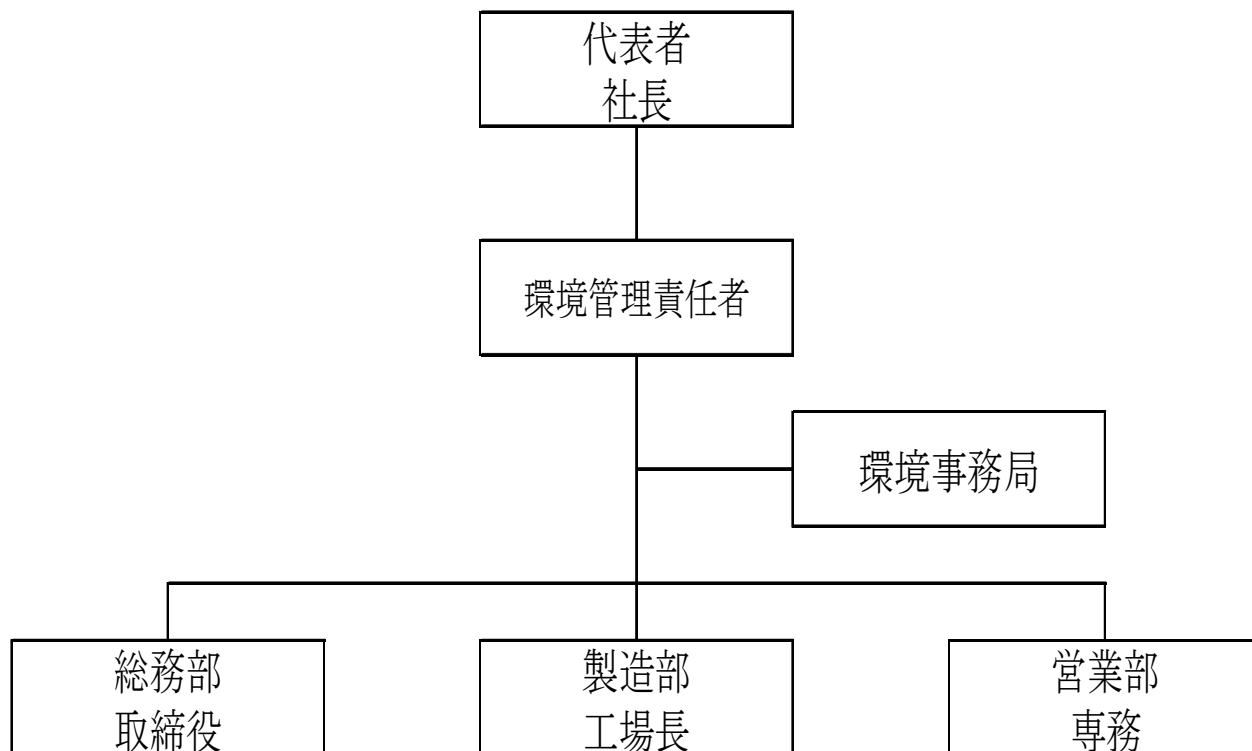
注) 当社は化学物質を使用していない為、目標設定していません。

環境経営の取り組み計画と評価

2022年10月～2023年9月までの目標と実績について評価を行った。

| 取り組み計画 | 達成状況 | | 単位 基準年度比 対目標比 | 評価（結果と今後の方向） |
|---|------|------------|---------------------|--|
| 二酸化炭素排出量の削減 ・ 下記の各項（①～⑤）による。 | 基準年度 | 120,471 | kg-CO ₂ | 目標達成 今年度も全社一丸となって二酸化炭素排出量を削減する事に力を入れて取り組んだ結果、計画通り目標を達成する事が出来ました。電力会社を変更した事が大きく功を奏したと思われまます。 |
| | 目標 | 118,062 | 98% | |
| | 実績 | 85,392 | 72% | |
| | 達成率 | 138% | | |
| ①電力使用量の削減 ・ コンプレッサの計画運転 ・ 工作機械の計画的使用 ・ 不使用工作機械の電源オフ ・ クールビズの励行 | 基準年度 | 186,763 | kWh | 目標達成 今年度も工作機械の計画的使用等の取り組みに力を入れて努力しました。仕事量の増加もあり大変厳しい条件の中、目標を達成する事が出来ました。今後もこの調子で継続して行く。 |
| | 目標 | 183,028 | 98% | |
| | 実績 | 151,023 | 83% | |
| | 達成率 | 121% | | |
| ②灯油使用量の削減 ・ 計画的にストーブを使用する工夫 ・ サーキュレータ使用 ・ ウォームビズ | 基準年度 | 2,880 | L | 目標達成 今年度は灯油ストーブに頼りすぎないで、ウォームビズや、足元を温める電気ストーブを使う等の工夫を凝らして行った結果目標を大きく達成する事が出来ました。 |
| | 目標 | 2,822 | 98% | |
| | 実績 | 1,543 | 55% | |
| | 達成率 | 183% | | |
| ③ガソリン使用量の削減 ・ 日頃の点検整備の充実 ・ 計画運行の徹底 ・ アイドリングストップの励行 | 基準年度 | 1,199 | L | 目標未達成 今年度も継続して計画運行の徹底等の取り組みに力を入れて努力を重ねましたが、営業社員の増員等による取引先、仕事量、配達回数、走行距離等の増加により目標を達成する事が出来ませんでした。今後も継続して努力して行く。 |
| | 目標 | 1,175 | 98% | |
| | 実績 | 1,580 | 134% | |
| | 達成率 | 74% | | |
| ④軽油使用量の削減 ・ 日頃の点検整備の充実 ・ 計画運行の徹底 ・ アイドリングストップの励行 ・ 燃費管理の実施 | 基準年度 | 3,613 | L | 目標未達成 今年度も継続して計画運行の徹底等の取り組みに力を入れて努力を重ねましたが、営業社員の増員等による取引先、仕事量、配達回数、走行距離等の増加により目標を達成する事が出来ませんでした。今後も継続して努力して行く。 |
| | 目標 | 3,541 | 98% | |
| | 実績 | 5,652 | 160% | |
| | 達成率 | 63% | | |
| ⑤LPG使用量の削減 ・ 種火の消火 ・ 利用方法の工夫 ・ LPGの計画的使用 | 基準年度 | 183.20 | kg | 目標達成 今年度もLPGの計画的使用等の取り組みを全員で力を入れて行った結果、目標を達成する事が出来た。今後もこの調子で継続して行く。 |
| | 目標 | 179.54 | 98% | |
| | 実績 | 178.43 | 99% | |
| | 達成率 | 101% | | |
| 廃棄物の削減 （一般廃棄物） ・ 廃棄物を減らす努力 ・ 分別回収の実施 | 基準年度 | 1.32 | t | 目標達成 今年度も引き続き全員で努力して分別回収の実施等の取り組みをしました。工場の整理整頓も大分進んだ影響もあってか目標を大きく達成する事が出来ました。今後もこの調子で継続して行く。 |
| | 目標 | 1.29 | 98% | |
| | 実績 | 0.90 | 70% | |
| | 達成率 | 143% | | |
| 事業不要物（ステンレス、鉄、アルミ）の削減 ・ 事業不要物の有効利用 | 基準年度 | 18.79 | t | 目標未達成 今年度は取引先や仕事内容の変化による材料の歩留りが悪い仕事の割合が高く、事業不要物の割合が非常に増加した。次年度は改善する様努力いたします。 |
| | 目標 | 18.41 | 98% | |
| | 実績 | 23.17 | 126% | |
| | 達成率 | 79% | | |
| 節水 ・ 計画的な水の利用 ・ 雨水利用の工夫 ・ 水使用方法の工夫 | 基準年度 | 295 | m ³ | 目標達成 今年度も水使用方法の工夫等の取り組みを全員で力を合わせて行った結果、目標を達成する事が出来た。今後もこの調子で継続して行く。 |
| | 目標 | 289 | 98% | |
| | 実績 | 222 | 77% | |
| | 達成率 | 130% | | |
| グリーン購入 ・ 適正なメッキ、塗装工場の選択 ・ 適正な仕入先からの材料購入 | 基準年度 | グリーン購入100% | | 目標達成 今年度も適正なメッキ、塗装工場の選択と適正な仕入先からの材料購入を継続して行った結果、目標を達成する事が出来た。今後もこの調子で継続して行く。 |
| | 目標 | 15/15 | 100% | |
| | 実績 | 15/15 | 100% | |
| | 達成率 | 100% | | |
| 環境への配慮 ・ 製造過程において材料のムダを無くす工夫をする。 ・ 環境に優しい製品加工の工夫 | 基準年度 | 材料ロス40.2% | | 目標未達成 今年度は取引先や仕事内容の変化による材料の歩留りが悪い仕事の割合が高く、事業不要物の割合が非常に増加した。次年度は改善する様努力いたします。 |
| | 目標 | 材料ロス39.4% | 98% | |
| | 実績 | 材料ロス45.8% | 116% | |
| | 達成率 | 86% | | |

環境経営システム組織図



環境経営システム 役割分担表

| | 役割の内容 |
|---------|--|
| 代表者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な設備等の準備。 環境管理責任者を任命。 環境活動に必要な文書・記録の承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・実施・管理。 環境活動に必要な文書・記録の作成・確認。 環境活動に関する教育・訓練の実施。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境経営レポートの作成・公開。(事務所に備付けと地域事務局への送付) |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐。 環境活動に必要な文書・記録の管理。 |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境活動の実施及び報告。 自部門の問題点の発見・是正・予防の実施。 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針に基づいた取り組みの理解。 環境目標達成に向けての環境活動の実施。 |

環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 遵守すべき要求事項 | 遵守評価 |
|----------|----------------------|------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物（紙、生ごみ等）の適正処理 | 遵守 |
| 消防法 | 消火器の定期点検の実施 | 遵守 |
| 騒音規制法 | 騒音基準（8時～18時）65dB以下 | 遵守 |
| 振動規制法 | 振動基準（8時～19時）65dB以下 | 遵守 |
| フロン排出抑制法 | 簡易点検の実施と記録・廃棄時の適切な処理 | 遵守 |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

外部からの苦情等の受付状況

- ・外部からの苦情等ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

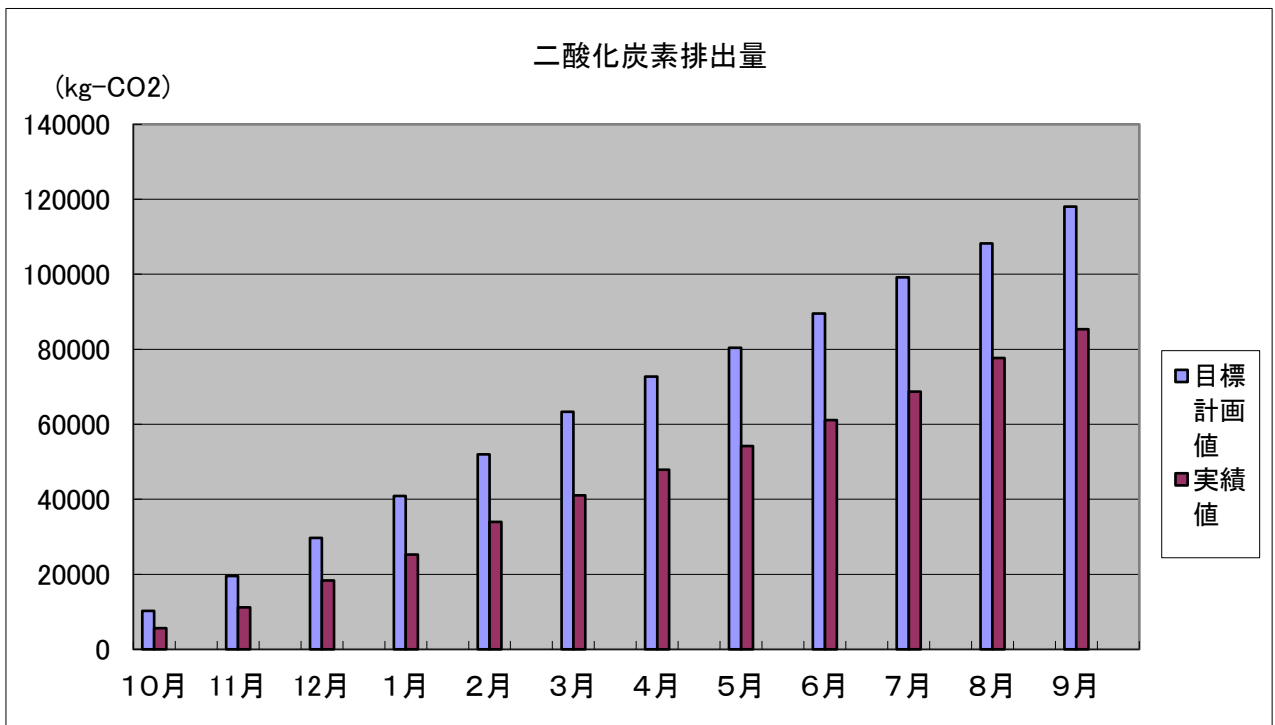
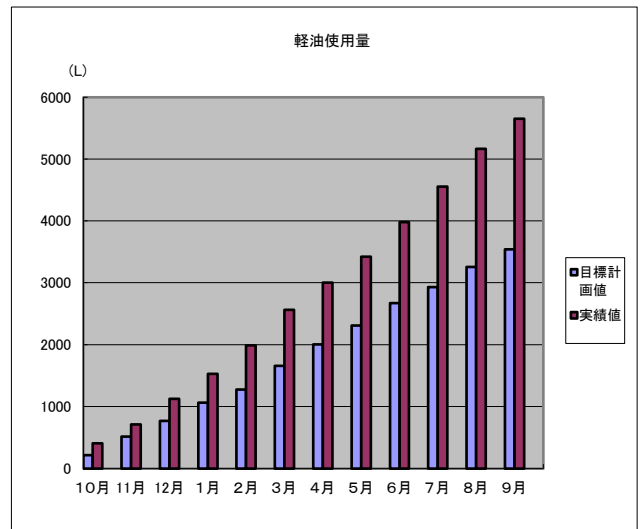
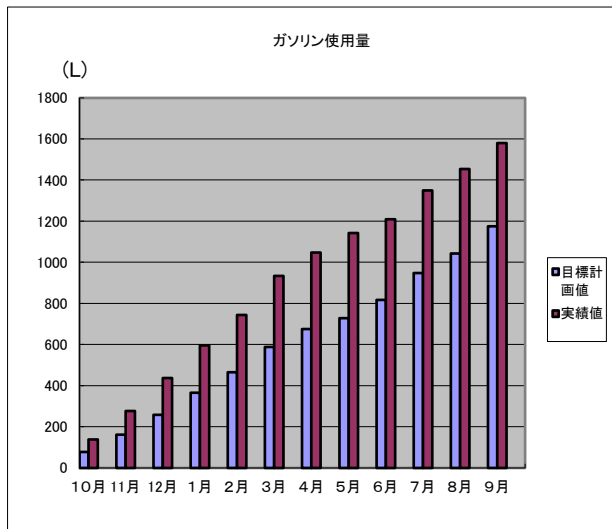
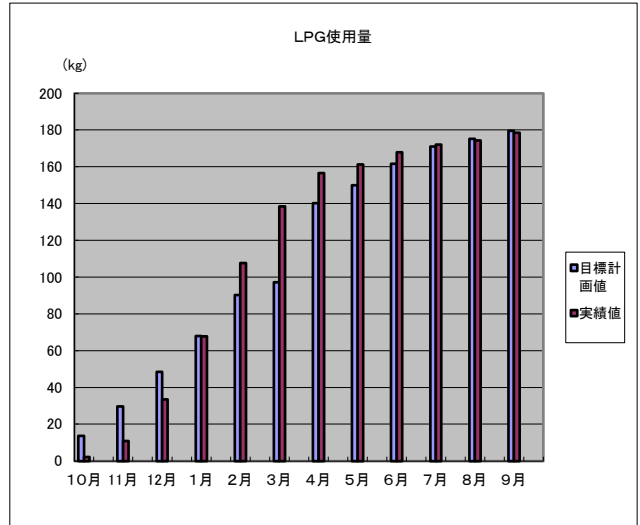
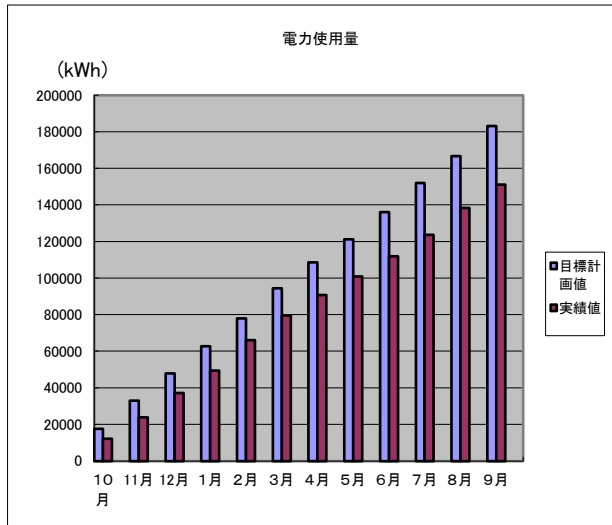
総括

・今年度も全社一丸となり二酸化炭素排出量の削減に力を入れてEA21活動に取り組みました。全員が創意工夫をして加工品の製造・販売と環境への配慮を心掛けて取り組んだ結果、目標とする所の二酸化炭素排出量の削減数値をクリアする事が出来ました。近年営業社員の増員により取引先が増えて、仕事量が増加している中、この結果を残せた事は評価するに値すると思われま。しかしながら色々アンバランスな目標設定値になって来ているので再度基準年度を見直したいと思ひます。次年度も目標を達成出来る様にムリ・ムダ・ムラのない取り組みと更なる工夫を行う事で、EA21と会社経営をバランス良くスムーズに行える様に努力してまいります。
環境経営方針、実施体制の見直しは有りません。

代表取締役社長 橋本善博
2023年10月20日



2023年度活動実績グラフ



・このグラフは累積数値を元にして作成しています。

呼びかけポスター

